

令和4年度  
(2022年度)

# 学校関係者評価報告書

令和4年(2022年) 4月 1日から

令和5年(2023年) 3月31日まで

令和5年(2023年) 8月22日

学校法人吉田学園  
吉田学園情報ビジネス専門学校

## ■令和4年度 学校関係者評価について

### 〈説明〉

本校が、教育研究水準の向上や活性化に努めるとともに、その社会的責任を果たしていくため、校訓や学校の目標と教育の実態とを照らし合わせ、自らの教育研究活動等の状況について自己点検し、現状を正確に把握・認識した上で、その結果を踏まえ、優れている点や改善を要する点など自己評価を行いました。

### 1. 実施日時

令和5年8月22日(火) 17:00～18:00

### 2. 実施場所

吉田学園情報ビジネス専門学校 204教室

### 3. 実施方法

#### (1)実施組織:学校関係者評価委員会

##### ○評価委員:

石原 勲	北15東6親交会 町内会長
奥定 祐佳	保護者
谷崎 英二	株式会社テクタス 代表取締役

##### ○学校関係:

橋本 直樹	吉田学園情報ビジネス専門学校 校長
柏木 典大	吉田学園情報ビジネス専門学校 情報系学科 学科長
川東 博之	吉田学園情報ビジネス専門学校 情報系学科 学科長
千葉 昌弘	吉田学園情報ビジネス専門学校 ビジネスキャリア学科 学科長
長内 昌志	吉田学園情報ビジネス専門学校 学校事務部 部長

(2)評価基準:文部科学省「専修学校における学校評価ガイドライン」に準拠。

(3)評価方法:令和4年度学校運営・教育活動実績報告書に対する学校関係者評価。

### 4. 評価項目

次の11項目について実施

- (1)教育理念・目標
- (2)学校運営
- (3)教育活動
- (4)学修成果
- (5)学生支援
- (6)教育環境
- (7)学生の受け入れ募集
- (8)財務
- (9)法令等の遵守
- (10)社会貢献・地域貢献
- (11)国際交流

### 5. 評価項目に対する評価

(1)4段階で点数評価しました。

4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切

(2) 委員会で提出された意見や質疑、提案事項を記載

① 項目1 教育理念・目標に関する意見

(学校より)

2020 年度の自己点検・評価の評価結果が改善された理由について、2023 年度の新学科編成に伴い、これまでの教育理念・目標の改定を図ったためとの補足説明がなされた。

② 項目 2 学校運営に関する意見

(学校より)

情報システム化等による業務の効率化を図る施策として導入が検討されている LMS (Learning Management System) について、次の内容の説明がなされた。

LMS の本格導入を前に 2022 年 10 月よりテスト運用を行う予定であったが、導入スケジュールの関係により事前の準備が十分にできなかったところもあるが、2023 年度からの新システム導入により、保護者への各種連絡や学生の出席状況の確認が可能となった。本システムの導入後の利用状況について、学生保護者である委員に対し意見を聞いた。

(委員からの意見)

新システムは適宜利用を行っている。出席状況など保護者が常に確認できることは望ましい。

③ 項目 3 教育活動に関する意見

(学校より)

2022 年度の資格取得状況について実績報告がなされた。

(委員からの意見)

基本情報処理技術者試験に関して、受験は任意かそれとも全員受験で行っているのか。

(学校より)

2021 年度からは学科の必修受験と位置づけ取り組みを行っている。前年度以上の実績は出せたが目標には届かなかったため、今後も更に対応法を模索する必要がある。

④ 項目 4 学修成果に関する意見

(学校より)

2022 年度の就職状況および離脱率状況について、年度目標と実績数値の説明がなされた。

(委員からの意見)

ゲーム系学科の専門就職について、学校の取り組みや意見を聞きたい。特にクリエイター養成系学科における専門就職が厳しい状況と見受けられる。そのため就職先をエンジニア系分野企業に切り替える事例も推測される。

(学校より)

クリエイター養成系学科の就職活動事情として、学生の制作作品の出来が就職活動に大きく影響をするため、2023 年度から 2 年課程から 3 年課程の新学科編成へ移行した経緯がある。このことで、より作品の完成度が上がることで、就職活動事情が改善されるものと考えている。

(委員からの意見)

「退学率の低減が図られているか」の評価について、コロナ禍の影響など内容について聞かせてほしい。

(学校より)

2022 年度はコロナ禍の影響が尾を引いた。高校生活もコロナ禍の影響で学校行事などの経験が十分できていなかった学生であり、入学後も満足な学生生活が出来ず、学業に影響をしたと考えられる。また、その影響は特に留学生において顕著に表れた。

⑤ 項目7 学生の受け入れ募集に関する意見

(学校より)

募集については、コロナ禍の影響により国内の外国人留学生数が激減したことで、特にビジネスキャリア学科への留学生入学者数が確保できない状況であった旨の説明がなされた。

⑥ 項目10 社会貢献・地域貢献に関する意見

(学校より)

従来学校として地域貢献の一環として地域清掃等の取り組みを行っているが、コロナ禍で実施が出来ていない現状があった。学生のことについて何かあればご意見を伺いたい。

(委員からの意見)

町内会としてもコロナの影響によりここ数年地域清掃等の取り組みは行えていない。なお、学生については、校舎周辺含め地域におけるごみ捨てマナーなどの問題はない。

6. その他

(1)以下、令和4年度(2022年度) 学校自己点検・評価報告書より。

項目1 教育理念・目標

・項目評価 4.0

・すべての項目について適切と評価

項目2 学校運営

・項目評価 3.9

・(2)-8 について、2023年度より教学・教務・校務システムが本格的に導入され、業務効率化が図られる

項目3 教育活動

・項目評価 3.8

・(3)-10,11 について、教育内容の充実に向け、更なる教員確保に努める

項目4 学修成果

・項目評価 3.0

・(4)-1 について、就職学年前年度における学生のモチベーションおよび技術スキル向上を図るため、就職活動関連行事の見直しおよびカリキュラムの改善に努める

・(4)-2 について、特に国家資格取得率向上に向け、受験スケジュールの見直しを図り、改善に努める

・(4)-3 について、外部カウンセラーの利用促進とともに、学校全体として学生の自己効力感・自己肯定感を醸成する取り組みを構築する

項目5 学生支援

・項目評価 4.0

・全ての項目について適切と評価

項目6 教育環境

・項目評価 4.0

・全ての項目について適切と評価

#### 項目7 学生の受入れ募集

- ・項目評価 3.7
- ・(7)-1 について、アフターコロナを見据えた留学生確保の施策を実施する

#### 項目8 財務

- ・項目評価 4.0
- ・全ての項目について適切と評価

#### 項目9 法令等の遵守

- ・項目評価 4.0
- ・全ての項目について適切と評価

#### 項目10 社会貢献・地域貢献

- ・項目評価 3.7
- ・(10)-2 について、ウイズコロナでの制限緩和により、2023 年度から町内清掃を含むボランティア活動を推進する

#### 項目11 国際交流

- ・項目評価 3.0
- ・(11)-1 について、アフターコロナ禍における留学生確保の施策を実施する
- ・(11)-3 について、留学生支援部の適切な支援体制と就職対応の早期実施を検討する
- ・(11)-4 について、留学生の能力や特性を踏まえた授業内容の組み立て、フォロー体制の充実を図る

以上